

# エコ eco fantasy ファンタジー

環境への感度を

拡張する

山田利明

ために

編著

河本英夫

エコ  
eco fantasy  
ファンタジー

97848611104688

1920010035009

ISBN 978-4-86110-468-8

C0010 ¥3500E

定価 (本体3500円+税)

春風社

環境への  
感度を

拡張する  
ために

エコロジーの主張は全般にいっぶんか暗い。その暗さは、現状を批判し、どこかで我慢したり、抑えたりする部分が含まれているからである。また自分の議論や生活感情を思想的にどこかで正当化しようとするからである。(…) 余分な思想的正当化を持ち込まないで、持続的に実行でき、際限なく奥行きのあるエコロジーはないのだろうか。ここにファンタステイックなイメージの活用が必要となる。

(「はじめに」より)

編著  
山田利明  
河本英夫

春風社  
shunpu-sha  
publishing

## もっとう、

## 感じよう。

スケールが大きすぎて捉えどころのない「環境」と、個人の生活感覚とのギャップは、どのように縮められるのか。食料自給率、生物多様性、南方熊楠、身体論など、さまざまな視点から問いかけることで、想像力を押し広げ発想の転換を促す刺激的論集。

はじめに 河本英夫 5

## I 環境への思い

- 1 — ファンタスティックな環境 岩崎大 13
- 2 — 触覚性環境 河本英夫 25
- 3 — 食料自給率 山田利明 39
- 4 — レジリエントな自然共生社会に向けた生態系の活用 武内和彦 49

## II 一歩後退二歩前進

- 5 — 非合理の合理性 住明正 57
- 6 — ケンムン広場 — 生物多様性モニタリング研究における保全生態学と情報学の協働  
鷲谷いづみ・安川雅紀・喜連川優 69
- 7 — 消費者が関与する海のサステナビリティ — 水産物エコラベルのポテンシャル  
八木信行 81
- 8 — 宇宙と環境とファンタジー 石崎恵子 99
- 9 — マヌカン・レクチャーとフレッシュな生命 池上高志 115

## III 文化的環境

- 10 — 初期日本哲学における「自然」 相楽勉 133
- 11 — 南方熊楠・説話研究と生態学の夢想 田村義也 149
- 12 — 大正詩人の自然観 — 根を張り枝を揺らす神経の木々 横打理奈 165
- 13 — 城外に詠う詩人 — 中国の山水田園詩 坂井多穂子 185
- 14 — 潜在的人類を探索するワークシヨップ 安斎利洋 197
- 15 — エクササイズとしての無為自然 野村英登 215

## IV 障害者・高齢者・避難者の環境

- 16 — 22世紀身体論 — 哲学的身体論はどのような夢をみるのか 稲垣諭 235
- 17 — 移動・移用についての小論 — フレッシュな生命 日野原圭 257
- 18 — カップリング(対化)をとおしての身体環境の生成 山口二郎 279
- 19 — 高齢者・障害者の能力を拡張する環境とは 月成亮輔 297
- 20 — 障害者の環境 池田由美 311

おわりに 河本英夫 325

